

第10回 逗子海水浴場の運営に関する検討会 概要

日時：令和6年12月17日（火）

14時30分～15時30分

場所：逗子市役所5階 第1・2会議室

出席者

〔メンバー〕 田中 美乃里、飯野 幸、菊池 俊一、山上 寿美、横山 奈緒子、
勝田 康司（菊池 千春代理）、岡田 和夫、歌代 光雄（高松 智一代理）、
山口 学、横山 健、福井 八洲雄、若菜 克己、岩佐 正朗
（順不同、敬称略）

〔オブザーバー〕 鎌倉保健福祉事務所環境衛生課、横須賀土木事務所許認可指導課、
横須賀三浦地域県政総合センター企画調整課

〔事務局〕 逗子市市民協働部経済観光課
課長 黒羽 秀昌、係長 楠元 仁、専任主査 稲井 麻美、
主事 宮上 敦久、主事 小林 健吾

欠席者

〔メンバー〕 菊井 健一、熊岡 寛展、黒田 尚弘、來嶋 政史、徳本 恒徳、
瀬田 敦子

〔オブザーバー〕 逗子警察署地域課、公益財団法人かながわ海岸美化財団、

会議公開の可否

可

傍聴者

1名

会議次第

1. 開会
2. 議題
 - （1） 来年度に向けた課題の整理
 - （2） 令和6年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書(案)について
 - （3） その他
3. その他

配布資料

資料1. 令和6年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書(案)

1 開会

- ・事務局より、検討会は傍聴できることと、マスコミの頭撮りについて説明を行った。
- ・事務局より、資料確認を行った。
- ・本日の会議の趣旨説明を行った。
 - 前回の検討会で検討・協議が途中になっていた項目から、引き続き議論をお願いしたい。その後、事務局で前回の内容を基に報告内容をまとめたため、報告に記載すべき事項について検討・協議をお願いしたい。

2 議題

(1) 来年度に向けた課題の整理

- ・事務局から配布資料について説明を行った。
 - 前回の議論を踏まえて報告書案を作成した。内容の修正等があればご意見いただきたい。前回終わらなかったチェックリスト・イエローカード以降は前々回までの意見をまとめている。

- ・2. 海の家に関する報告の前回検討会の続きから次のとおり議論があった。

(4) チェックリスト・イエローカード

- 意見なし

(5) 海岸組合によるマナーアップ警備員のパトロールへの同行・街中パトロール

- 意見なし

(6) その他

- 意見なし

- ・振興策の提案に係る報告について、次のとおり議論があった。
 - イベントではないが、海の家のカンペーンとして、8月終わりにVtuberとのコラボ企画が行われていた。普段海に来なそうな人がたくさん来ていて賑わっていた。今回のような企画も振興策と言えると思うが、組合としては何かあるか。
 - スポンサーとの関係もあるため、組合だけで行っていくことは難しい。組合としては話があれば検討していきたい。今夏は全体でアニメ企画をやるという話もあったが、変更になった。良い話があれば調整していきたい。
 - 今回問題なかったのはターゲット層が良かったのかなと思う。アニメ企画ならファミリーで楽しめると思う。新しい話があったときにターゲットを考えてできるといい。
 - 全体となると課題も出てくる。
 - シークレット花火はシークレットではなくて良いのではないか。PR告知してやってみようか。周知していないことがもったいない。
 - 来場者が多すぎると困る。程よい人数で収めたい。逗子海岸花火大会は10万人の人数があり、海水浴場開設期間中は砂浜に人が入りきれないため5月に開催している。宣伝して人が多く来ると警備面や混雑しすぎる問題もあり、安全のためにシークレットにしている。
 - 自治会の掲示板に掲載できれば地域に情報が入る。

- SNS にアップされてしまうと歯止めがきかなくなる。
- 5月の花火大会の規模で10万人集まるが、シークレット花火の規模では周知してもそこまで人は来ないと思う。
- マネジメントが難しいものだと思う。PR 宣伝して多くの人を呼ぶのであれば、より警備体制をしっかりしないと警察の許可を取ることが難しくなるのではないかと。明石市の花火大会で死亡事故があり、警備不足が言われていた。それ以降、警備体制に関して警察のチェックも厳しくなっている。江の島もここ数年は分散開催をしている。
- 発表はいつしているのか。
- 発表はしていない。組合員にも直前に伝えている。
- 市民だけに分かるように、当日の朝、空砲をあげる等できないか。
- 市民の方が来られるような周知を考えてもらえるといい。
- 防災無線で流せないか。避難訓練の日にやるなども考えられる。
- 小中学校のマチコミで流すことはできないか。
- それは学校教育上の使い方ではないと言われるため難しい。
- 犬を避難させないといけなから事前に花火があるのを知りたかったという話は聞いたことがある。
- コロナの流行時期はシークレットであったが、今は単に宣伝しただけの花火になっていないか。子どもたちにもっと来てほしいこと、地元の人をターゲットにした花火であることを伝える必要がある。
- 地域住民だけに周知する等の方法を考えていただきたい。
- そもそも誰が花火を打ち上げているか知らない人が多いのではないかと。
- 各海の家が少しずつお金を出し合って、海岸組合として市民への感謝を込めて打ち上げている。
- それも伝わっていない。
- 市民もありがとうと言いたい。市民への感謝を込めてあげていることをもっと周知すべき。
- シークレット花火ではなく、市民への感謝花火とかにしたらいいのではないかと。
- 市民への感謝の気持ちであることを発信していく必要を感じる。地域と共存していくという海岸組合の姿勢を出してもよいと思う。メンバーから各団体のみなさんへ、誰がシークレット花火をやっているか、趣旨も含めて周知してもらってはどうか。
- 周知して問題なければ地域に伝えたり、自治会の広報誌等に載せたりしたい。ここではっきり了承いただければ載せるがどうか。
- 自治会が地域住民のことを考えて伝えることは止められないが、組合の立場上シークレットにしているので伝えていいとは言えない。葉山港で上げているため、音の影響が大きい近隣の葉山町民には事前に伝えている。
- 警察との調整が必要で、人が集まるイベントは警備が必要。広報をするならば自主警備を増やす必要がある。何年か前に情報が漏れて多くの人が集まり、6号通路が大渋滞して警察から注意を受けた。車と人の交錯が危険であり、その対策が実施の条件となるため考えていかないといけない。安全確保が重要だと思う。

- ・ 1. 利用者に関する報告の報告内容について、次のとおり議論があった。
 - (1) 全般
 - 意見なし
 - (2) 条例等ルールを守らない利用者への対応
 - 意見なし
 - (3) 飲酒対策
 - 意見なし
 - (4) ごみ対策
 - 意見なし
 - (5) 防犯カメラの設置
 - 意見なし
 - (6) その他
 - 意見なし
- ・ 2. 海の家に関する報告の報告内容について、次のとおり議論があった。
 - (1) 全般
 - 意見なし
 - (2) 海の家営業時間
 - 組合としては今夏問題があったら即刻中止という厳しい条件の中で、延長による問題は起きていないと思っている。20時にBGMをストップして、21時閉店をしっかりときたと思っている。そのため、組合の総意としては、21時まで延長させてほしい。
 - 全期間66日ということか。それは自治会としては認められない。
 - 両方の意見があることを報告書には記載してほしい。来年どうするかは市長の判断になると思うが、他の団体内で意見があれば最終版までに意見を持ち込んでいただければと思う。
 - 20時にBGMを切る話は周知されていたのか。対策が知れ渡っていない。
 - 周知が足りないのは市にも責任があると感じている。こういうことをやるのであれば細かいところまで伝えていかないといけないと思う。
 - 営業時間変更の試行にあたっていくつかの工夫をした。20時にBGMを消す等の一定の効果があった。
 - 来年も試行的でいいのではないか。今年は地震もあり特殊な状況であった。全員が納得はできないと思うが、大半の人の意識が一緒になるまでは、期間を区切って試行的にやってみるのがいいのではないか。

(3) 海の家音楽・イベント

- イベントに関しては多少問題もあったので、まだ試行的に実施し、皆さんとルールをつくりながら、しっかりと問題が起きないような形でやれるようにしていきたい。
- イベントが音楽系に偏っていた。どうしても音楽系はにぎやかになってしまう。落語とか音の出ないものや海のことについて学ぶ講座をすとか、朝ヨガとか色々な種類ができると良い。他にも美味しい料理があるためレシピを教える料理教室とかも良い。普段海岸に行かない市民が行くきっかけにできればいい。
- ブルーフラッグの環境教育として、環境の企画はやっている。今夏も企業の親子イベントとして、環境教育が実施された。その企業の関係者の親子だけ参加できる形でやっているの、表に出てきていないが、もっとこういった企画をできるといい。そのためにブルーフラッグに取り組んでいる面もあるため、市民参加型などで幅広くやっていきたい。
- もっと広報してもらえないか。知りたいし、知っていたら行きたい。行けなくても周囲の人に知らせられる。
- 組合がやっているのか。
- 今回は企業が主体で行った。海の家を会場として提供した。
- 特定の団体が海の家を貸し切って行ったクローズドのイベントであったため、検討会にもお知らせがっていない。内容としては、環境教育であるため応用することはできるのではないかな。
- その他、海の家の一部を会場に貸りてカード対決などの企画もやっていた。
- 親子向けや環境のことをしていると分かるようにしていけばファミリービーチとしてのブランドが上がっていく。試行イベントが音楽に偏ると逗子は昔に戻ったのかと思われる。誰が主体でやるのかという問題はあるが、環境等の取組をしていることが外から見て分かるようにすればブランドが上がっていくと思う。
- やり方に気を付けてもらえればイベントは賛成。各海の家の前で宝探しゲームとか子ども向けのものとかをどんどんやってほしい。各海の家でも、組合でも、ファミリービーチを目指しているのがみえるような形でやってもらえるといい。
- 組合内の意識も変わってきている。今年、場所を提供した企業と夏に集めたペットボトルキャップをタイルにして、何年かかけてエコステーションの外壁を作る計画をしている。集めたプラスチックの再利用するところまでは、組合も行政も難しいが、企業とつながることによってできるようになった。参加する子どもたちも目に見える形になると意欲が出るのではないかな。
- ライフセーバーと遊ぼうなど、子ども向けの取組をたくさんやられていてよかったと感じている。
- 今まで不特定多数を集めるイベントは禁止だったが、不特定多数を集めて環境のイベントが今の試行ではできるため、ブランドを上げていく効果も期待できる。良いイベントを戦略的に集めて、発信していくと良い。
- イベントも周知が足りていない。せっかく良い企画があるならしっかりと周知すべきだと感じている。
- これだけ考えて取り組んでいるため発信もしっかりお願いしたい。

3 その他

- ・事務局より、今後のスケジュールについて説明を行った。
 - 今回の内容を盛り込んで報告書の最終案を作成することとなるが、最終案の作成は事務局に一任いただけるか。あるいは1月に再度検討会で検討することも可能である。
- ・報告書案の作成は事務局に一任することとなった。
 - 各団体から意見がある場合は年明け早々までに事務局へお願いしたい。
 - 今回の意見等も踏まえて、報告書最終案を事務局で作成し、来年1月には各メンバーに送付して確認してもらおう。2月上旬までには座長から市長へ報告いただく予定となる。
 - 今のメンバーでの検討会は本日が最後になる。2年間ご協力いただき感謝申し上げます。次回の検討会に向けて、市民メンバーを公募し、各団体に推薦を依頼することになる。なお、新メンバーでの検討会は3月に開催を予定している。3月はルール案等の話をできればと考えている。現メンバーにおかれては、これまでのご協力に感謝申し上げます。

以上